



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 理研コランダム株式会社

コード番号 5395 URL <http://www.rikencorundum.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 坂爪 康一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 杉浦 順

TEL 048-596-4411

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	3,528	△30.4	30	△86.1	90	△65.3	79	△48.4
23年12月期第3四半期	5,069	12.6	216	15.2	261	8.5	153	△5.3

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 97百万円 (12.8%) 23年12月期第3四半期 86百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	8.49	—
23年12月期第3四半期	16.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	5,777	3,789	65.6
23年12月期	5,906	3,748	63.5

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 3,789百万円 23年12月期 3,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年12月期	—	3.00	—		
24年12月期(予想)				3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,900	△22.4	68	△67.6	140	△48.1	117	△29.2	12.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年12月期3Q	10,000,000 株	23年12月期	10,000,000 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

24年12月期3Q	707,237 株	23年12月期	706,337 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年12月期3Q	9,293,393 株	23年12月期3Q	9,294,298 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提となる条件等については、[添付資料]P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年9月30日まで）におけるわが国経済は、国内需要が復興関連を中心に底堅く推移したものの、世界景気の減速や常態化する円高により輸出や鉱工業生産は総じて弱含みに推移いたしました。また、引き続き欧州債務問題や中国経済環境の不確実性から、先行き不透明感の強い、下振れリスクを抱えた状況のなかでの動きとなりました。

このような状況下、当社グループの売上については、主事業である研磨布紙等製造販売事業の減少から、全体としても減収となりました。

また、利益面においても、生産効率化の一層の推進や販売管理費の圧縮等に鋭意努力したものの、売上高減少の影響から減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,528,418千円(前年同期比30.4%減)、営業利益30,102千円(前年同期比86.1%減)、経常利益90,461千円(前年同期比65.3%減)となり、また四半期純利益は78,859千円(前年同期比48.4%減)となりました。

セグメントの概況は、以下のとおりであります。

(研磨布紙等製造販売事業)

当社グループの中核事業である研磨布紙等製造販売事業は、主力市場である鉄鋼、金属製品業界向及び木工製品業界向等が、震災前の水準には戻りきれていない状況に加え、前年上半期の牽引役であったソーラ・半導体等のIT関連業界が、昨年下半年以降の世界的な過剰在庫顕在化と長期に亘った円高等を起因とした国際価格競争力低下による国内生産の停滞により、市場環境が急激に悪化し、取引先の事業停止及び販売価格の下落に伴う影響から、回復が見られないまま現在に至っております。

この結果、売上高は2,830,812千円(前年同期比34.8%減)、営業損失は29,846千円(前年同期の営業利益は174,708千円)となりました。

(OA器材部材等製造販売事業)

当社グループは、複写機、ATM、ファクシミリ、印刷機等の事務機器に組み込まれる紙送り用各種ローラー部品を受注生産しております。

国内におけるこれらの事務機器需要は、市場の成熟化と相俟ってデジタル端末や環境問題等によるペーパーレス化の進行により、減少しております。

このため、事務機器メーカーは低価格志向対応から海外製造移転が加速化しております。

なお、昨年11月実施した国内連結子会社譲渡の影響等から売上高は454,606千円(前年同期比6.0%減)となりましたが、海外での販売連結子会社が好調に推移したこと等から、営業利益は54,122千円(前年同期比9.9%増)となりました。

(不動産賃貸事業)

株式会社ダイエーに賃貸しております理研神谷ビルの賃貸収入は243,000千円(前年同期比0.1%減)、営業利益は188,893千円(前年同期比2.9%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ128,777千円減少し、5,776,773千円になりました。これは主に、持分法適用関連会社の四半期純利益計上により関係会社出資金が37,396千円増加しましたが、売上高の減少に伴う仕入高の減少によりたな卸資産が204,586千円減少したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ169,543千円減少し、1,988,008千円になりました。これは主に、賞与の支給に備えるため負担すべき支給見込額を賞与引当金として計上したことにより33,300千円増加しましたが、売上高の減少に伴う仕入高の減少により支払手形及び買掛金が93,513千円減少したことと、約定返済が進んだことにより借入金76,312千円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ40,766千円増加し、3,788,765千円になりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の業績予想につきましては、平成24年8月7日に公表致しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、引き続き情報収集に努め、業績への重大な影響が見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

また、今後も全社一丸となって業容拡大に向け、新製品、新市場の開発等に全力を挙げて取り組んでまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

(i) 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基盤として合理的な方法により算定する方法によっております。

(ii) 繰延税金資産及び繰延税負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	377,796	471,364
受取手形及び売掛金	902,639	801,196
商品及び製品	927,759	771,355
仕掛品	591,354	586,205
原材料及び貯蔵品	279,452	236,419
その他	90,425	138,396
貸倒引当金	△5,912	△11,227
流動資産合計	3,163,513	2,993,708
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,485,063	3,488,534
減価償却累計額	△2,438,825	△2,488,484
建物及び構築物（純額）	1,046,238	1,000,050
機械装置及び運搬具	1,547,739	1,647,600
減価償却累計額	△1,381,171	△1,421,480
機械装置及び運搬具（純額）	166,568	226,120
その他	728,692	733,341
減価償却累計額	△299,449	△340,968
その他（純額）	429,243	392,373
有形固定資産合計	1,642,049	1,618,543
無形固定資産	34,527	36,954
投資その他の資産		
関係会社出資金	603,688	641,084
その他	464,423	488,884
貸倒引当金	△2,650	△2,400
投資その他の資産合計	1,065,461	1,127,568
固定資産合計	2,742,037	2,783,065
資産合計	5,905,550	5,776,773

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	741,815	648,302
短期借入金	194,000	32,000
1年内償還予定の社債	55,600	111,200
1年内返済予定の長期借入金	260,568	276,857
未払法人税等	14,174	1,560
賞与引当金	—	33,300
その他	137,709	163,535
流動負債合計	1,403,866	1,266,754
固定負債		
社債	194,400	111,000
長期借入金	219,709	289,108
修繕引当金	49,373	53,503
退職給付引当金	107,673	81,582
役員退職慰労引当金	93,263	104,729
長期預り金	50,000	50,000
資産除去債務	8,520	8,649
その他	30,747	22,683
固定負債合計	753,685	721,254
負債合計	2,157,551	1,988,008
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	98,753	98,753
利益剰余金	3,406,547	3,429,644
自己株式	△133,787	△133,910
株主資本合計	3,871,513	3,894,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△48,737	△30,702
繰延ヘッジ損益	△10	△2,371
為替換算調整勘定	△74,767	△72,649
その他の包括利益累計額合計	△123,514	△105,722
純資産合計	3,747,999	3,788,765
負債純資産合計	5,905,550	5,776,773

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	5,068,805	3,528,418
売上原価	4,005,862	2,679,581
売上総利益	1,062,943	848,837
販売費及び一般管理費	846,870	818,735
営業利益	216,073	30,102
営業外収益		
受取配当金	13,240	14,714
持分法による投資利益	89,625	53,820
為替差益	—	516
その他	8,063	15,242
営業外収益合計	110,928	84,292
営業外費用		
支払利息	11,904	9,995
手形売却損	10,933	5,534
売上割引	7,640	8,350
為替差損	31,224	—
その他	4,553	54
営業外費用合計	66,254	23,933
経常利益	260,747	90,461
特別利益		
固定資産売却益	—	279
特別利益合計	—	279
特別損失		
固定資産除却損	26	23
災害による損失	15,528	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15,844	—
特別損失合計	31,398	23
税金等調整前四半期純利益	229,349	90,717
法人税、住民税及び事業税	85,275	19,072
法人税等調整額	△7,773	△7,214
法人税等合計	77,502	11,858
少数株主損益調整前四半期純利益	151,847	78,859
少数株主損失(△)	△1,088	—
四半期純利益	152,935	78,859

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	151,847	78,859
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51,763	18,035
繰延ヘッジ損益	△3,433	△2,361
為替換算調整勘定	△1,431	141
持分法適用会社に対する持分相当額	△9,503	1,976
その他の包括利益合計	△66,130	17,791
四半期包括利益	85,717	96,650
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	86,805	96,650
少数株主に係る四半期包括利益	△1,088	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	研磨布紙等 製造販売事業	OA器材部材等 製造販売事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,341,851	483,755	243,199	5,068,805	—	5,068,805
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,341,851	483,755	243,199	5,068,805	—	5,068,805
セグメント利益	174,708	49,231	183,639	407,578	△191,505	216,073

(注) 1. セグメント利益の調整額△191,505千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に連結財務諸表提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	研磨布紙等 製造販売事業	OA器材部材等 製造販売事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,830,812	454,606	243,000	3,528,418	—	3,528,418
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,830,812	454,606	243,000	3,528,418	—	3,528,418
セグメント利益又は損失(△)	△29,846	54,122	188,893	213,169	△183,067	30,102

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△183,067千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に連結財務諸表提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。